

# 第一部

# 霧術

foggy magic

「気をつけろよ」

foggy magic

「魔力に例えられるものは無し。  
唯一、魔力に近きものは光なり」

foggy magic

メッテバウジが口に手を当てると、  
指の隙間から蝶が飛び出し、  
揺れながら飛び回り、  
二階から降りてきてルツトの周りを飛んだ。

foggy magic

「紅州が紅に染まれば、春がやってくる」

foggy magic

「まったくもって、下品だ」

foggy magic

レンブラントの絵画である  
「ニコラース・テュルプ博士の解剖学講義」と同じように、  
舞台の上で俳優たちは扮装していた。  
白い襞襟を首周りに飾り、黒い衣服をまとっている。

foggy magic

「私にもし、何かあったら、あれを頼む」  
「あんたに何かあるわけねえじゃねえか」

foggy magic



老人は、思わず「約束の地か……」ともらした。

foggy magic

「そうか。そう、なのか。  
君はおもちゃの蝶を、  
メッテバウジを  
僕に見せたはずなのだけど……」

foggy magic

The man of the overlooking

第一部 霧術

「気をつけろよ」  
メルデアはルツトに声をかけた。  
「あいつは俯瞰の男だ」

foggy magic